

## 国際文化研究科 科目一覧

科目名	担当者	副題	科目内容
多言語相関論Ⅱ A/B	大野	パロディと文化	パロディという身近な（ただし見落とされることも多い）現象を通して、日本文化の特徴について考えます。そのうえで、受講者がそれぞれに関心のある時代や文化におけるパロディの例を持ちよって、全員で議論を重ねます。
多言語相関論Ⅲ A/B	輿石	言語の研究方法を学ぶ	主に英語の文献を読みながら、言語の研究手法、言語接触の実態、言語の記述の仕方などについて学び、議論します。特定の理論に偏することなく、できる限り一般的な知識の習得を目指します。（文献については、受講者と相談して変更する場合があります。）
多文化相関論Ⅱ A/B	熊田	人の表象の間文化性	間文化性について学ぶ。間文化的に生成されたヨーロッパ絵画を例とする。諸文化が共通点を有し、その共通点がゆえに相違点が際立つこと、そして、諸文化が間文化的関係性の中で相互に影響を与えあうことを把握する。
多文化相関論Ⅲ	佐々木	歴史学の諸アプローチ	歴史学における方法論的展開（政治史・経済史・文化史など）の概要を理解することを目指します。またそこから、国際文化学の視点から歴史を捉える方法について考えていきます。
多文化芸術論Ⅰ	佐藤	映画を読む	「東欧革命」以前のソ連・東欧の映画作品を鑑賞しつつ、寓意的表象、イソップ言語、象徴性を読み取り、作品の真意を受け止める力を養います。
異文化社会論Ⅰ A/B	今泉	植民地社会と国際関係	植民地支配と植民地社会、脱植民地化の具体的な事例から国際関係の歴史と現在を理解し、現代の「異文化社会」が抱える問題に取り組む視座と方法を学びます。
ナショナリズム/エスニシティ論 A/B	石森	A：文化人類学の諸アプローチ B：民族・国家・エスニシティ	文化人類学の理論と概念を学ぶとともに、植民地主義、ナショナリズム、国民文化の創造、民族・宗教紛争などのテーマを具体的な事例に基づいて考察します。
マイリティ社会論 A/B	曾	A：英国の中国系移民とその母村 B：米仏豪のラオス難民モン族の時空を超えた絆	エスニック・マイリティや移民集団の社会と文化について、モノグラフを読みながら、一緒に考えていきます。
ジェンダー論	佐々木	ジェンダー史の展開	ジェンダー史の視点や方法論を概観していきます。また、国際文化という切り口から、ジェンダーの問題を検討していく可能性について議論します。

科目名	担当者	副題	科目内容
多言語社会論 A/B	大中	現代ヨーロッパの基礎研究	フランス語圏やヨーロッパを中心とし、複数の言語や文化をめぐる関係性にフォーカスしながら政治や社会について専門的に学びます。
多民族共生論 I A/B	松本	A：開発と先住/少数民族 B：先住民（族）と国際規範—開発協力を中心に—	春学期の I A では開発と先住/少数民族、秋学期の I B では国際的な宣言・政策が形成された過程とその実効性を批判的に読み解きながら、国際規範のあり方を考えます。事前に課題文献を読んだ上で発表とディスカッションで授業を進めます。民族、秋学期の I B では国際機構と先住/少数民族について学びます。事例は東・東南アジア、中南米、アフリカ。事前に課題文献を読んだ上で発表とディスカッションで授業を進めます。
多民族共生論 II A/B	高柳	A：人物でたどる日本近現代史 B：朝鮮・在日朝鮮人と日本社会	春学期の II A では、アジアと関係の深い日本人個人の伝記類を一冊精読して、日本近現代史の流れをたどります。II B では、朝鮮や在日朝鮮人（総称）に関する拙稿を、「発表当時」と「現在」2つの視点から読み込む作業をします。
多文化情報空間論 I A/B	森村	「人生の意味」の哲学	本科目の情報空間とは、グローバルに広がるインターネット空間から、具体的な他者と関わる人間関係までを含む包括的なテーマです。特に、「人生における意味（the meaning in life）」の哲学の基本的な文献を精読し、議論していきます。
多文化情報メディア論 II	重定	人工知能について学ぶ	現在、大きな社会的注目を集めている人工知能について、画像を認識する人工知能などを題材とした実習を行いながらその仕組みについて学び、人工知能が社会に与える影響などについて考察します。
国際協力論	松本	歴史・社会影響・人材育成・地域協力から考える	「開発援助の歴史」「開発援助の社会的影響」「人材育成」「メコン地域協力」を主なテーマに、文献講読・発表・ディスカッションを行います。
多文化情報ネットワーク論 A/B	和泉	インターネットの社会性と情報文化	今や社会生活に必要不可欠になったインターネットを始めとする情報ネットワークは、国境を越えてあらゆる種類の情報端末に繋がっています。その文化的背景と内在する問題について学び、議論していきます。
国際ジャーナリズム論	神林	多様性社会における報道の役割	報道を分析し、その必要性、問題点、対策等を議論する。1. 国内メディアと海外メディアの報道比較 2. 外交とジャーナリズム 3. 国際報道にみられる政治的、経済的、社会的影響

科目名	担当者	副題	科目内容
国際文化交流論ⅡA	木村	人の移動現象にアプローチするさまざまな方法	19世紀以降の国民国家形成過程、都市化や近代化の過程、世界各地の紛争のなかで見られた出稼ぎ、国外・国内移住、強制的な住民交換、政治的亡命などの移動現象と人々のネットワーク、人々の帰属意識、さらに国家による政策の関係に注目します。
比較宗教文明論	臼杵	イスラームなどの一神教と日本	「イスラム国（IS）」は壊滅したものの宗教・宗派・民族紛争は世界中で続いている。日本社会で宗教がどんな意味をもっているのかを出発点として世界の宗教紛争の現状を具体的な問題を取り上げながら検討していく。
国際人権論	藤岡	マイノリティの視点から考える人間の尊厳	第二次大戦以降の人権の概念と保障体制の発展を踏まえた上で、人権をめぐる危機を植民地主義と人種主義をキーワードに考えていく。